

市川海岸塩浜2丁目護岸

護岸緑化のための苗植え実施報告



平成23年10月6日実施

1. 現地苗移植の実施概要

日 時：平成23年10月6日（木）13：30～14：30

場 所：市川海岸塩浜2丁目 護岸バリエーション施工区間

天 候：晴れ

参加者：12名（委員1名、一般3名、関係者6名、事務局3名）

配布資料：苗移植に関する概要資料



現地苗移植の目的・方法の説明状況

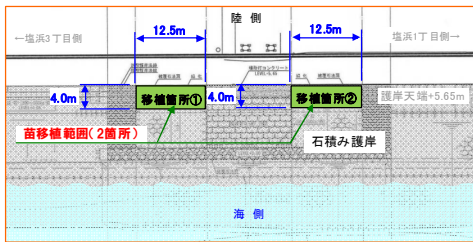
2. 現地苗移植の目的、緑化対象箇所

【苗移植の目的】

塩浜2丁目護岸では、景観の改善や利用空間の場の向上を目的として、護岸天端の緑化を行う計画である。

平成21年から実施した護岸の緑化試験で、海浜植物の生育が確認された。そこで、新たに整備された護岸バリエーション区間において、海浜植物の苗移植を行い、緑化することとした。

【緑化対象箇所－移植場所】



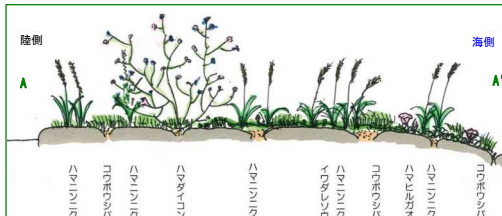
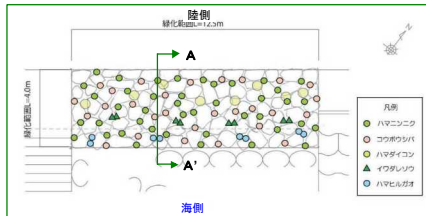
3. 苗移植した海浜植物と苗植え方法

【苗移植した海浜植物について】

- 苗移植した緑化対象の海浜植物は5種
(緑化試験の結果をもとに選定)
ハマニンニク、ハマダイコン、
コウボウシバ、ハマヒルガオ、イワダレソウ
- 海浜植物の苗は実施日の午前中に、
“ふなばし三番瀬海浜公園”と“護岸緑化
試験区”から採集したものである。
※海浜公園での採集は、事前に管理者(船橋市、企業庁)協力依頼を行い、了解を得た上で実施した。

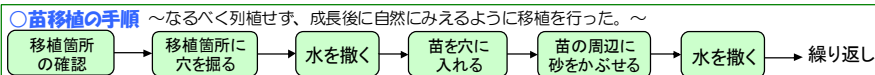


【苗移植の方法】 第34回護岸整備委員会の緑化計画にもとづき、苗移植を実施した。



○ 植栽配置計画 - 1箇所あたり -

○ 海浜植物成長後の横断面方向イメージ図(左図のA-A'方向)



4. 苗移植の結果

【苗移植の実績】

海浜植物ごとの移植数の計画と実績

種名	計画			実績数		
	移植箇所① (塩浜3丁目側)	移植箇所② (塩浜1丁目側)	合計	移植箇所① (塩浜3丁目側)	移植箇所② (塩浜1丁目側)	合計
ハマニク	42株(42箇所)	42株(42箇所)	84株(84箇所)	29株(29箇所)	32株(32箇所)	61株(61箇所)
コウボウシバ	28株(28箇所)	28株(28箇所)	56株(56箇所)	32株(32箇所)	36株(36箇所)	68株(68箇所)
ハマダイコン	8株(8箇所)	8株(8箇所)	16株(16箇所)	8株(8箇所)	8株(8箇所)	16株(16箇所)
ハマヒルガオ	8株(4箇所)	8株(4箇所)	16株(8箇所)	8株(4箇所)	12株(6箇所)	20株(10箇所)
イワダレソウ	8株(4箇所)	8株(4箇所)	16株(8箇所)	8株(4箇所)	14株(7箇所)	22株(11箇所)
合計	94株(86箇所)	94株(86箇所)	188株(172箇所)	85株(77箇所)	102株(89箇所)	187株(166箇所)



委員や市民による苗移植の実施状況



苗移植直後の状況

ハマニクの採集数が少なかったため、コウボウシバ、ハマヒルガオ、イワダレソウを多めに移植し、移植株数・箇所数は計画とほぼ同数となった。

5. 苗移植3週間後の生育状況（速報）

10月27日（木）に生育状況の確認を行った。



一部枯れて消失したものがみられたが、全体的に生育良好で、株の周りから新たに出身している苗もあった。



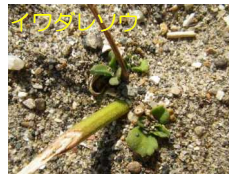
枯れて消失したものはなく、生育は良好で、移植した株の周りから新たに出身している苗もあった。



全体的には生育は良好だが、一部で枯れて消失していたものがあり、種子の播種を3箇所行った。



一部枯れて消失したものがみられたが、その他の個体に枯れはほとんどなく、生育は良好である。



一部枯れて消失したものがみられ、生育しているものも良好には見えないが、今後成長期になれば、生育も良好になるものと考えられる。



確認時の移植箇所の状況
(2011.10.27)